

PC-POLE

配電用共架柱

通信用専用柱

細径柱

鉄道柱

信号柱

防球ネット柱

照明柱

アンテナ柱

複合柱

フランジ柱

セキサンPCポール 標準性能表

柱種	全長	末口径	元口径	支持点高	荷重点高	ひび割れ 試験荷重	支持点における ひび割れ試験 曲げモーメント	参考重量	足場 受口数	標準足場 ボルト 取付数
	(m)	(mm)	(mm)	(m)	(m)	(kN)	(kN・m)	(kg)	(本)	(本)

<専用柱・共架柱 テーパー1/75>

7-14-1.5	7	140	233	1.2	5.55	1.5	8.33	290	10	10
7-19-4.3	7	190	283	1.2	5.55	4.3	23.87	440	10	10
7-19-6.0	7	190	283	1.2	5.55	6.0	33.30	490	10	10
8-14-1.5	8	140	247	1.4	6.35	1.5	9.53	350	12	10
8-14-2.0	8	140	247	1.4	6.35	2.0	12.70	350	12	10
8-19-4.3	8	190	297	1.4	6.35	4.3	27.31	520	12	10
8-19-6.0	8	190	297	1.4	6.35	6.0	38.10	570	12	10
8-19-10 ★	8	190	297	1.4	6.35	10.0	63.50	690	12	10
9-14-2.5	9	140	260	1.5	7.25	2.5	18.13	410	13	13
9-19-4.3	9	190	310	1.5	7.25	4.3	31.18	600	13	13
9-19-5.0	9	190	310	1.5	7.25	5.0	36.25	670	13	13
9-19-6.0	9	190	310	1.5	7.25	6.0	43.50	710	13	13
9-19-7.0	9	190	310	1.5	7.25	7.0	50.75	760	13	13
10-19-3.5	10	190	323	1.7	8.05	3.5	28.18	690	15	15
10-19-4.3	10	190	323	1.7	8.05	4.3	34.62	690	15	15
10-19-5.0	10	190	323	1.7	8.05	5.0	40.25	760	15	15
10-19-6.0	10	190	323	1.7	8.05	6.0	48.30	770	15	15
10-19-7.0	10	190	323	1.7	8.05	7.0	56.35	870	15	15
11-19-4.3	11	190	337	1.9	8.85	4.3	38.06	780	17	15
11-19-6.0	11	190	337	1.9	8.85	6.0	53.10	870	17	15
11-19-7.0	11	190	337	1.9	8.85	7.0	61.95	990	17	15
11-19-10 ★	11	190	337	1.9	8.85	10.0	88.50	1030	17	15
12-19-3.5	12	190	350	2.0	9.75	3.5	34.13	870	30	20
12-19-5.0	12	190	350	2.0	9.75	5.0	48.75	970	30	20
12-19-7.0	12	190	350	2.0	9.75	7.0	68.25	1120	30	20
12-19-10 ★	12	190	350	2.0	9.75	10.0	97.50	1150	30	20
13-19-5.0	13	190	363	2.2	10.55	5.0	52.75	1080	25	20
13-19-7.0	13	190	363	2.2	10.55	7.0	73.85	1290	25	20
13-19-10 ★	13	190	363	2.2	10.55	10.0	105.50	1320	25	20

※参考重量とは、所定の強度を満足させるうえでの設計重量のことであり、実際の重量は20%程増となります。

★当該製品は、磁器製銘板(柱種標)に「細」と記載されます。

セキサンPCポール 標準性能表

柱種	全長	末口径	元口径	支持点高	荷重点高	ひび割れ試験荷重	支持点におけるひび割れ試験曲げモーメント	参考重量	足場受口数	標準足場ボルト取付数
	(m)	(mm)	(mm)	(m)	(m)	(kN)	(kN・m)	(kg)	(本)	(本)

<共架柱 テーパー1/75>

14-19-3.5	14	190	377	2.4	11.35	3.5	39.73	1070	34	25
14-19-5.0	14	190	377	2.4	11.35	5.0	56.75	1200	34	25
14-19-7.0	14	190	377	2.4	11.35	7.0	79.45	1450	34	25
14-19-10 ★	14	190	377	2.7	11.05	10.0	110.50	1460	34	25
14-22-10	14	220	407	2.7	11.05	10.0	110.50	1850	33	25
14-22-15	14	220	407	2.9	10.85	15.0	162.75	2090	33	25
15-19-5.0	15	190	390	2.5	12.25	5.0	61.25	1320	36	30
15-19-7.0	15	190	390	2.5	12.25	7.0	85.75	1590	36	30
15-19-10 ★	15	190	390	2.8	11.95	10.0	119.50	1600	35	30
15-22-10	15	220	420	2.8	11.95	10.0	119.50	1990	35	30
15-22-15	15	220	420	3.0	11.75	15.0	176.25	2300	35	30
16-19-5.0	16	190	403	2.7	13.05	5.0	65.25	1440	37	30
16-19-7.0	16	190	403	2.7	13.05	7.0	91.35	1720	37	30
16-19-10 ★	16	190	403	2.8	12.95	10.0	129.50	1760	37	30
16-22-10	16	220	433	2.8	12.95	10.0	129.50	2220	38	30
16-22-15	16	220	433	3.0	12.75	15.0	171.25	2510	38	30

<細径柱 テーパー1/160>

12-19-3.5S ★	12	190	265	2.0	9.75	3.5	34.13	760	29	20
14-19-5.0S ★	14	190	278	2.4	11.35	5.0	56.75	1070	34	25
15-19-5.0S ★	15	190	284	2.5	12.25	5.0	61.25	1170	36	30

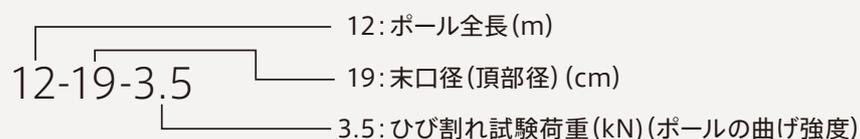
<細径柱 テーパー1/110>

14-19-7.0S ★	14	190	317	2.4	11.35	7.0	79.45	1270	34	25
15-19-7.0S ★	15	190	326	2.5	12.25	7.0	85.75	1390	36	30
16-19-7.0S ★	16	190	335	2.7	13.05	7.0	91.35	1520	37	30

※参考重量とは、所定の強度を満足させるうえでの設計重量のことであり、実際の重量は20%程増となります。

★当該製品は、磁器製銘板(柱種標)に「細」と記載されます。

柱種の呼び方(例)



セキサンPCポール 標準性能表

柱種	全長	末口径	元口径	支持点高	荷重点高	ひび割れ試験荷重	限界ひび割れ幅耐力	参考重量
	(m)	(mm)	(mm)	(m)	(m)	(kN)	(kN・m)	(kg)

<鉄道柱 ノーテーパー>

8-35-N50	8	350	350	1.4	6.35	7.88	50	1100
8-35-N65	8	350	350	1.4	6.35	10.24	65	1260
9-35-N50	9	350	350	1.5	7.25	6.90	50	1240
9-35-N65	9	350	350	1.5	7.25	8.97	65	1410
10-35-N50	10	350	350	1.7	8.05	6.22	50	1380
10-35-N65	10	350	350	1.7	8.05	8.08	65	1570
10-35-N75	10	350	350	1.7	8.05	9.32	75	1690
11-35-N50	11	350	350	1.9	8.85	5.65	50	1510
11-35-N65	11	350	350	1.9	8.85	7.35	65	1730
11-35-N75	11	350	350	1.9	8.85	8.48	75	1860
12-35-N50	12	350	350	2.0	9.75	5.13	50	1650
12-35-N65	12	350	350	2.0	9.75	6.67	65	1890
12-35-N75	12	350	350	2.0	9.75	7.70	75	2030
13-35-N65	13	350	350	2.2	10.55	6.17	65	2050
13-35-N75	13	350	350	2.2	10.55	7.11	75	2200

※参考重量とは、所定の強度を満足させるうえでの設計重量のことであり、実際の重量は20%程増となります。

カラーポール

※足場ボルトへの塗装も可能です

適用ポール 本カタログに掲載されているすべてのポール

納期 受注生産品の為、別途ご相談ください

適用色 標準色: ブラウン(日本塗料番号:15-20B マンセル値:5YR1/2)

指定色: 日本塗料番号にてご指示ください

標準色色見本



15-20B ※カタログの為実際の色は多少異なります

塗装方法 ウレタン塗装 全艶

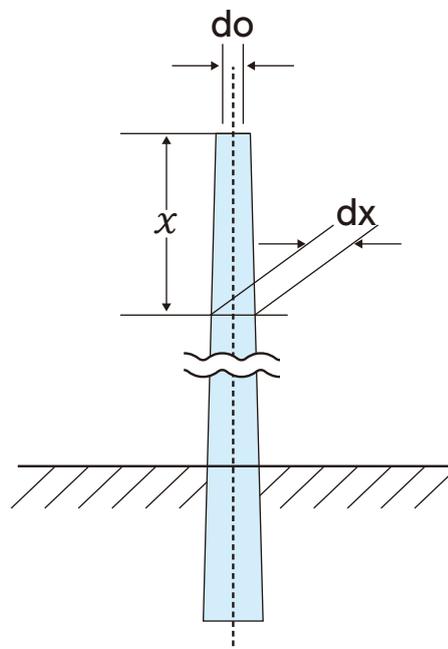
セキサンPCポール外径早見表

χ: 末口 からの 距離 (m)	専用柱・共架柱			細径柱	
	1/75	1/75	1/75	1/110	1/160
	do:末口径(mm)				
	140	190	220	190	190
0.5	147	197	227	195	193
1.0	153	203	233	199	196
1.5	160	210	240	204	199
2.0	167	217	247	208	203
2.5	173	223	253	213	206
3.0	180	230	260	217	209
3.5	187	237	267	222	212
4.0	193	243	273	226	215
4.5	200	250	280	231	218
5.0	207	257	287	235	221
5.5	213	263	293	240	224
6.0	220	270	300	245	228
6.5	227	277	307	249	231
7.0	233	283	313	254	234
7.5	240	290	320	258	237
8.0	247	297	327	263	240
8.5	253	303	333	267	243
9.0	260	310	340	272	246
9.5	—	317	347	276	249
10.0	—	323	353	281	253
10.5	—	330	360	285	256
11.0	—	337	367	290	259
11.5	—	343	373	295	262
12.0	—	350	380	299	265
12.5	—	357	387	304	268
13.0	—	363	393	308	271
13.5	—	370	400	313	274
14.0	—	377	407	317	278
14.5	—	383	413	322	281
15.0	—	390	420	326	284
15.5	—	397	427	331	—
16.0	—	403	433	335	—

計算式

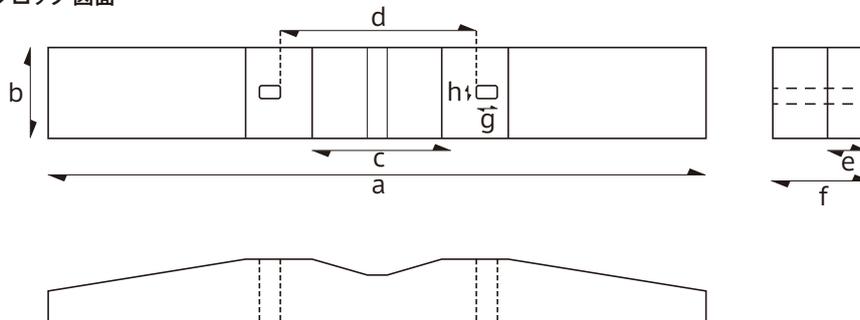
$$dx = do + \text{テーパ} \times \chi$$

dx : 外径
do : 末口径
χ : 末口からの距離



SE根柵ブロック 標準寸法表

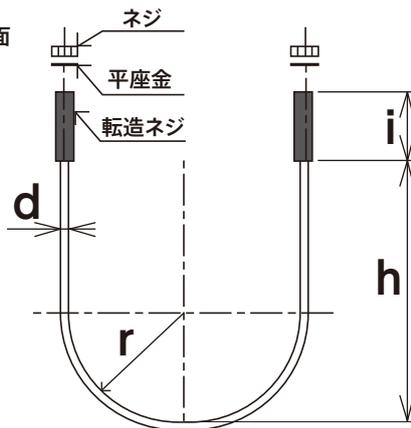
SE根柵ブロック 図面



品名	寸法(mm)								標準重量(kg)	標準組合せ
	a	b	c	d	e	f	g	h		
B型	800	150	170	170	50	100	60	20	25	2号
SEN-150	1000	150	130	245	50	120	65	22	32	2号
SEN-170	1000	170	140	220	50	120	110	22	39	3号
SEN-200	1200	200	275	275	50	120	80	22	54	4号
SEN-240	1200	240	150	200	50	120	110	22	66	4号

SE根柵ブロック用Uボルト^{※1} 標準寸法表

SE根柵ブロック用Uボルト 図面

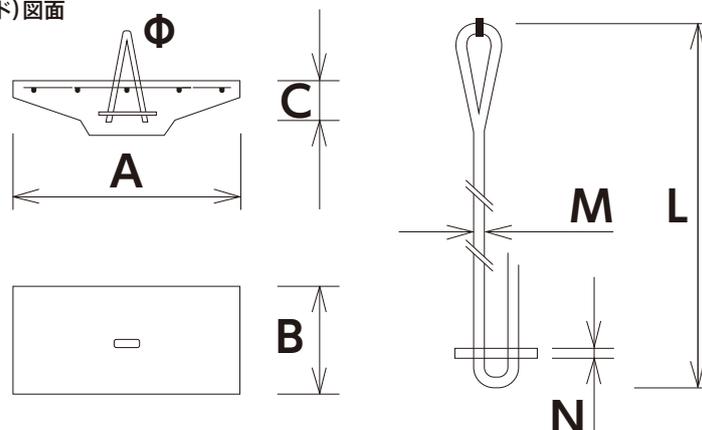


※1 溶融亜鉛メッキ(HDZ35)

品名	寸法(mm)					ネジ	平座金	標準重量(kg)
	r	h	i	d				
2号	125	290	100	15	M16	50×50	1.41	
3号	165	350	150	15			1.74	
4号	205	400	200	15			2.10	

SEステーブロック(ロッド) 標準寸法表

SEステーブロック(ロッド)図面

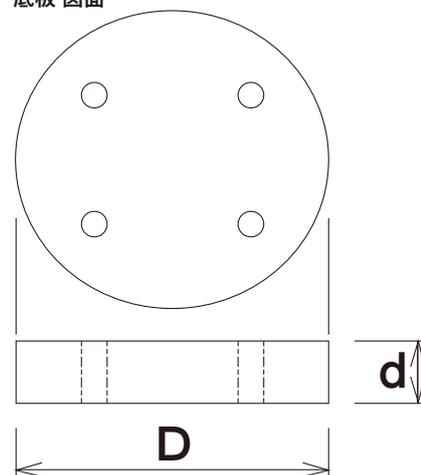


品名	ブロック(mm)				ロッド(mm)			重量(kg)	
	A	B	C	Φ	L	M	N	ブロック	ロッド
1号	500	250	70	16	1800	16	8	18	3.3
2号	600	300	80	16	2000	16	8	30	3.7
3号	700	350	90	19	2300	19	8	44	5.9
4号	800	400	100	19	2500	19	8	60	6.4
5号	900	450	110	22	2700	22	10	86	9.5
6号	1100	550	130	25	3000	25	10	150	13.7

底板 標準寸法表

品名	D	d	標準重量(kg)
1号 $\Phi 450$	450	100	36
2号 $\Phi 500$	500	100	45
3号 $\Phi 600$	600	100	65

底板図面



1. はじめに

日頃、弊社のコンクリートポールをご使用頂き誠にありがとうございます。コンクリートポールは、主にJIS A 5373(コンクリート製品)規格に準拠した製品です。また、規格外の製品におきましても、ご要望に応じて製造を行っています。

コンクリートポールの用途としては、配電、通信、鉄道、照明用、防球ネット、アンテナ用などでご使用頂き、極めて重要な施設であります。その設置、管理においては、道路法、道路交通法、労働安全衛生法、騒音規制法等などの基準、規程類を遵守し、安全には十分注意をお願いいたします。

この「コンクリートポール取扱説明書」をよくお読みになって、安全で長く維持できる施設としてご愛用頂けるように願っております。

2. ポールの保管

2.1 保管場所

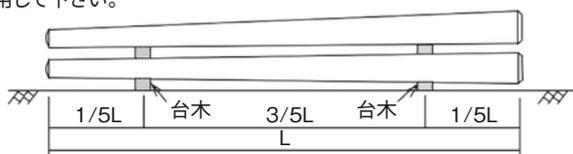
コンクリートポールは、長尺・重量物であることから、取り扱いに支障がないように安全で十分なスペースが必要です。また、保管場所の地盤は凹凸のない平坦な場所とし、軟弱な地盤では、鉄板を敷くなど十分な対処をお願いします。

2.2 ポールの吊り方

- ① ポールの荷卸作業は、必ず2名以上でお願いします。
- ② ポールを吊る際には、所定強度の鋼製ワイヤーを使用し、カラーポールなどの化粧ポールは、ナイロンスリングなど傷が付きにくい吊り具を使用して下さい。
- ③ ポールには、重心位置表示が設置されています。その重心位置を中心に2点吊りとし、2点吊りの角度は60度以下として下さい。
- ④ 吊って移動の際には、元口部にロープなどを掛けて、ポールが回転しないように人手によって制御するようにして下さい。
- ⑤ 足場ボルトや貫通穴などを利用して、吊る行為はやめて下さい。
- ⑥ 荷卸作業は、安全基準に従って行って下さい。

2.3 置き方

- ① ポールは2点支持として、その支持点の間隔は下図のように3/5L(L:ポールの長さ)となるように置いてください。その支持点は、木製の角材などを使用して下さい。



- ② ポールの段積みは、基本的には避けてください。敷地スペースの関係でやむをえない場合には、上図のように上下の支持点を合わせ、同じ品種のポールを山積みして下さい。
- ③ ポールは転がりやすい円形であるため、転がり防止のパッキンなどを必ず差し込んで下さい。
- ④ ポールは、プレストレスが導入されていることで、ひび割れが入りにくくなっていますが、荷役作業、置き方などが悪い場合には、ひび割れが入る場合がありますので十分留意して下さい。
- ⑤ コンクリートポールは中空円環断面となっているため、強い衝撃を加えると縦方向につぶれひび割れが生じる場合があります。できるだけ強い衝撃を与えないで下さい。

2.4 保管方法

- ① 保管場所は、一般の人が入れないよう対処して下さい。
- ② コンクリートポールは、長尺で重量物であることから、移動距離・移動回数を最小限にするように計画して下さい。
- ③ ポールは古くなっても強度上は低下することはほとんどありませんが、古くなることで外観が悪くなる場合があります。特に冬期において部分的に白くなる白華現象(エフロレッセンス)や、白い斑模様、雨だれ跡が発生する事があります。しかしこの現象自体がポールの強度を低下させるものではなく、使用上問題ありませんが、なるべく先入れ、先出しを原則とし、製造日の古いポールから使用して下さい。

3. 建柱作業

- ① 事前に地下埋設物の有無を調査し、埋設物が無いことを確認してください。疑わしい場合には、試掘するなど十分注意して掘削し、埋設物に損傷を与えないようにして下さい。
- ② 建柱車など機械で掘削することを基本とし、根入れ長、ポール外径を考慮し、できるだけ狭小に掘削して下さい。
- ③ 掘削土は、交通、歩行者の障害にならないように集積して下さい。
- ④ 軟弱地盤などでポールが沈下するおそれがある場合には、玉石を敷くかポール底板を置くかして沈下防止対策をして下さい。
- ⑤ ポール内部に流入した水が底蓋の排水孔より地中へ抜けるように排水機能を確保願います。長年にわたり地盤面以上の水がポール内部に溜まると、冬季に凍結しポールの縦ひび割れの原因にもなります。
- ⑥ 建柱の際には、ポールに強い衝撃を与えないように十分注意して下さい。
- ⑦ 建柱後の隙間の埋め戻しは、土をまんべんなく均等にいれ、その締め固めにおいても、全周にわたって均等におこなって下さい。不均等な締め固めをおこなうと、ポールにひび割れが入る可能性があります。
- ⑧ 根柢及び根巻き作業をする場合には、ポールに偏荷重が加わらないように十分留意して下さい。
- ⑨ ポールの建方を修正する場合には、根入部の埋め戻しを1/3以下でかつ締め固めを行っていない場合のみ可能です。それ以上になってしまうと曲げモーメントが多くなり本体にひび割れを生じることがあります。

4. 装柱作業

装柱作業は、ポールに過大な衝撃や変位が加わらないように留意して下さい。もし過大な衝撃や変位が加わった場合には、ポールに異常がないか調査し、ひび割れがあれば次項 5. ひび割れに従って適切な処置をお願いします。

5. ひび割れ

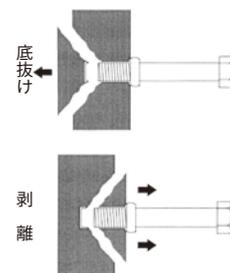
コンクリートポールにひび割れが生じた場合には、下記に従って下さい。

- ① 不均衡荷重などがあれば除去し、ポールのひび割れ幅を測定して下さい。
- ② 残留ひび割れ幅が0.05mmを超えるひび割れがあった場合には、過大な荷重が加わった可能性があるため、ポールの交換、建て替えを検討して下さい。
- ③ 残留ひび割れ幅が0.05mm以内であれば、使用しても問題ないといえますが、安全で長く維持するためにも設備管理台帳などに記録をすることをお願いします。

6. 足場ボルト

誤った取り扱いで、足場受け口が損傷し、事故に繋がらないように下記の点に留意して下さい。

- ① 足場ボルトの取り付けは、必ず建柱後に行ってください。
- ② 足場ボルトのねじ部に異物の付着およびねじ山不良がないことを確認して下さい。ねじ山不良の場合は、足場ボルトを交換して下さい。
- ③ 足場ボルト受口に異物がないことを確認してください。異物が入ったまま足場ボルトを入れると足場受口の破損・足場受口周辺コンクリートの剥離につながる可能性があります、必ず取り除いて下さい。足場受口に溜まった水が凍った状態で、足場ボルトを入れることで破損する場合がありますので注意が必要です。
- ④ 足場ボルト及び足場ボルト受口のねじ部には、グリス、潤滑剤などをつけないで下さい。
- ⑤ 足場ボルトの取り付けは、足場ボルトを受け口に合わせ、手で2山以上勘合せ、その後足場ボルト頭部をスパナにて足場ボルトのつば部が足場受口表面に密着するまで締め付けて下さい。
- ⑥ 締め付けトルクは、40~50N・mを目安として下さい。過大なトルクが加わると受け口のねじ部破損、ポール本体が損傷する可能性がありますので十分注意して下さい。
- ⑦ 足場ボルトのつば部が受け口に密着しているか、必ず確認して下さい。密着していない状態で、足場ボルトに体重を掛けると非常に危険ですのでやめて下さい。



鉄筋コンクリート柱

1. 架設条件

1) 架設電線

高 圧；ACSR-OC 公称断面積 120mm²

高 さ $h_1 = 11.35\text{m}$

外 径 $d_1 = 0.0186\text{m}$

重 量 $W_1 = 0.555\text{kg/m}$ 3条

低 圧；ACSR-OW 公称断面積 58mm²

高 さ $h_2 = 10.35\text{m}, h_3 = 10.05\text{m}$

外 径 $d_2 = 0.0125\text{m}$

重 量 $W_2 = 0.31\text{kg/m}$ 2条

変圧器；単相30KVA

高 さ $h_4 = 8.15\text{m}$

重 量 $W_3 = 207\text{kg}$ $\ell = 0.52\text{m}$

2) 経 間

$S = 40\text{m}$

3) 支 持 物

ポール 14-19-5.0

破壊荷重 $P = 10.0\text{kN}$

$D_0 = 0.19\text{m}$

$D_1 = 0.345\text{m}$

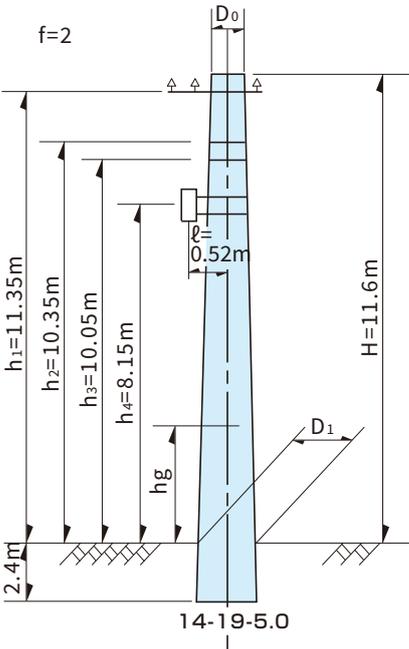
$H = 11.6\text{m}$

4) 風圧荷重

ポール $K_1 = 780\text{Pa}$

架渉線 $K_2 = 980\text{Pa}$

5) 安全率



2. 曲げモーメントMの計算

変圧器の偏心荷重による曲げモーメント

$$M_1 = W_3 \times \ell \times g = 207 \times 0.52 \times 9.81 = 1055.95\text{N}\cdot\text{m} = 1.06\text{kN}\cdot\text{m}$$

$g = \text{重力加速度}(9.81)$

架渉線の風圧荷重による曲げモーメント

$$M_2 = K_2 \cdot S \cdot (\sum dh) = 980 \times 40 \times (0.0186 \times 11.35 \times 3 + 0.0125 \times 10.35 + 0.0125 \times 10.05) = 34822\text{N}\cdot\text{m} = 34.82\text{kN}\cdot\text{m}$$

ポールの風圧荷重による曲げモーメント

$$\begin{aligned} \text{重心位置 } hg &= \frac{1}{3} \cdot \frac{(2D_0 + D_1)}{(D_0 + D_1)} \cdot H \\ &= \frac{1}{3} \times \frac{(2 \times 0.19 + 0.345)}{(0.19 + 0.345)} \times 11.6 \\ &= 5.24\text{m} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} M_3 &= K_1 \cdot \frac{(D_0 + D_1)}{2} \cdot H \cdot hg \\ &= 780 \times \frac{(0.19 + 0.345)}{2} \times 11.6 \times 5.24 \\ &= 12682\text{N}\cdot\text{m} = 12.68\text{kN}\cdot\text{m} \end{aligned}$$

故に、地際における曲げモーメントは

$$\begin{aligned} M &= M_1 + M_2 + M_3 \\ &= 1.06 + 34.82 + 12.68 \\ &= 48.56\text{kN}\cdot\text{m} \end{aligned}$$

14-19-5.0の地際における設計曲げモーメントは

$$\begin{aligned} M_a &= 56.75\text{kN}\cdot\text{m} \\ M &= 48.56\text{kN}\cdot\text{m} < M_a = 56.75\text{kN}\cdot\text{m} \end{aligned}$$

—O.K—

以上の検討により、14-19-5.0を用いればよい。
(変圧器にかかる風圧荷重は無視した。)

参考例

1) 根巻基礎の検討

支持物の安全率

$$f = \frac{\rho \cdot K \cdot d_1 \cdot t^4}{120P_0(H+t_0)^2} > 2.0$$

K ：土質係数

t ：ポールの根入れの深さ(m)

d_1 ：ポールの地際径(m)

P_0 ：ポールの頂部集中荷重に換算したポール及び付属架設物に加わる風圧荷重(kg)

H ：集中荷重点の地表上の高さ(m)

t_0 ：地表面から支持物の回転中心までの深さ(m)
 $t_0 = 2t/3$

ρ ：コンクリート根巻きによる基礎の抵抗モーメントの増加係数

$$\begin{aligned} \rho &= 36 \left\{ \frac{Y^2}{2} [1 + \beta^2(\alpha - 1)] - \frac{2Y}{3} [1 + \beta^3(\alpha - 1)] \right. \\ &\quad \left. + \frac{1}{4} [1 + \beta^4(\alpha - 1)] \right\} \end{aligned}$$

$$\alpha = \frac{d_3}{d_1}, \beta = \frac{tc}{t}, \gamma = \frac{t_0}{t}$$

tc ：根巻き高さ(m)で、一般土壌の場合は地表面下0.15mまでの部分は含まない。

t_0 ：根巻き後の回転中心(m)

$$t_0 = \frac{2}{3}t \left\{ \frac{1 + \beta^3(\alpha - 1)}{1 + \beta^2(\alpha - 1)} \right\}$$

d_3 ：根巻きの直径(m)

土質係数 K

土質の種別		土質係数 (N/m ⁴)
普通土質	[A] 固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで硬い土の部類に属するもの。	3.9×10^7
	[B] 固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで軟かい土の部類に属するもの。	2.9×10^7
軟弱土質	[C] 流砂。(土がまじらないもの)	2.0×10^7
	[D] 水分の多い粘土、腐食土、盛土など軟弱な土。(深田を除く)	0.8×10^7

2) 支線基礎支持力計算式

$$P = \frac{T}{f} = \frac{We(Ve - V) + WV}{f}$$

P ：支持力(N)

T ：引揚耐力(N)

f ：基礎の安全率

We ：土壌の単位質量(kg/m³)

WV ：支線基礎の質量(kg)

Ve ：支線基礎の地表面以下の容積(m³)
：載頭錐体の容積(m³)

$$Ve = t \left\{ a \cdot b + (a+b)t \cdot \tan\theta + \frac{\pi}{3} (t \cdot \tan\theta)^2 \right\}$$

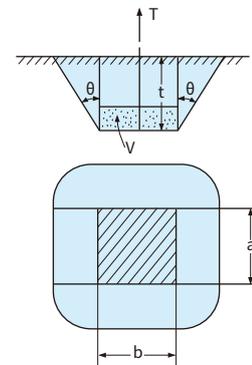
a ：支線基礎の長さ(m)

b ：支線基礎の幅(m)

θ ：引揚力に抵抗する土の有効角度(度)

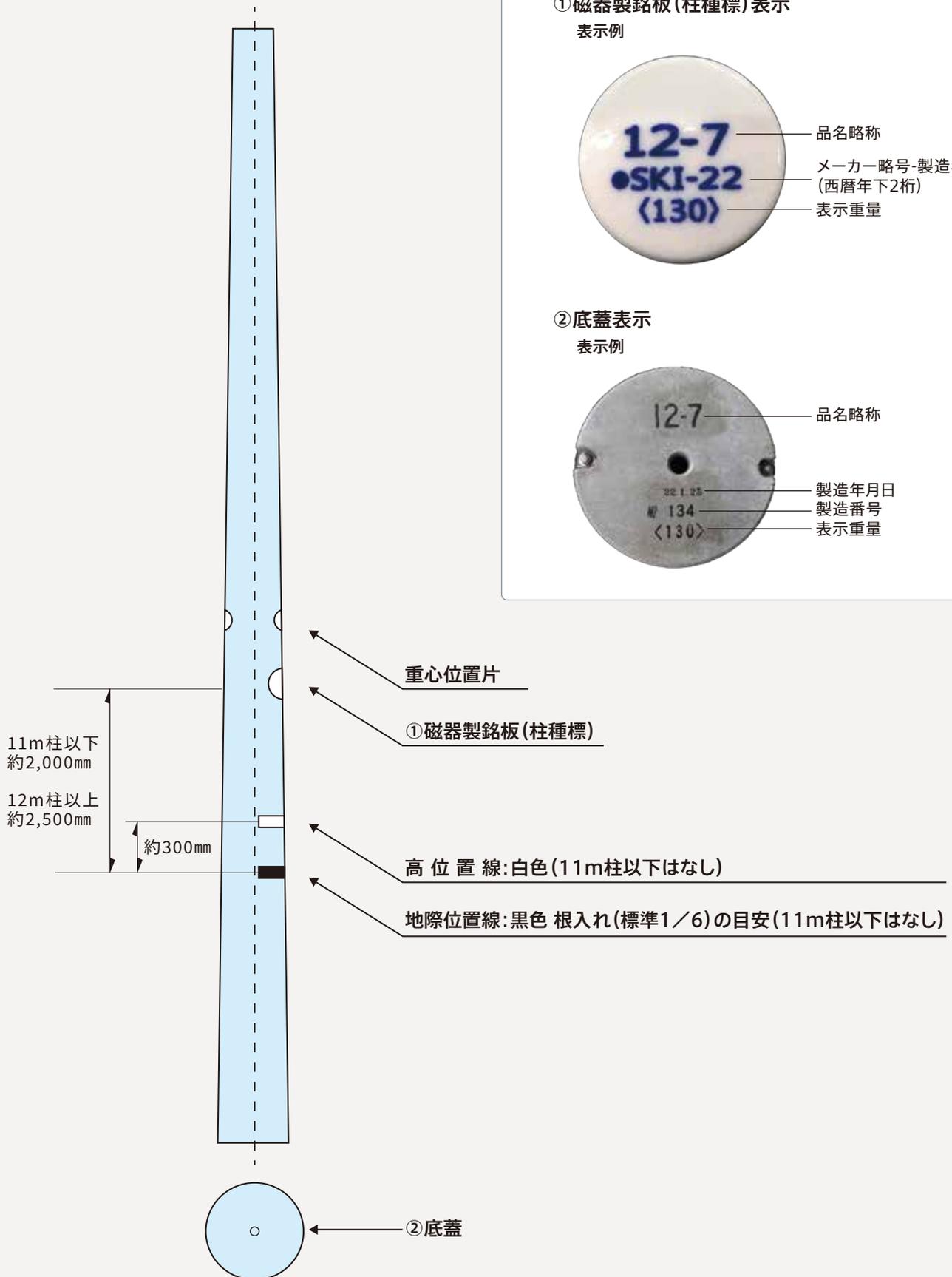
t ：基礎底面の地表面以下の深さ(m)

g ：重力加速度(m/s²)



土壌の有効角度及び標準単位重量

土 壤 区 分		引揚力に抵抗する有効角度 θ (度)	単位重量 We (kg/m ³)
甲種	山地、硬い畑地又は原野のように赤土、砂利まじり等で湧水がなく、抵抗力の大きい箇所のもの。	30	1,600
	軟かい畑地、湧水の少ない水田のように黒土等で、やや湧水があるが抵抗力の大きい箇所のもの。	20	1,500
丙種	普通の水田のように湧水が多く、抵抗力の小さい箇所のもの。	10	1,400
丁種	沼地、特に軟弱な水田のように湧水が非常に多く抵抗力のない土地等でコンクリート打ち等を行う必要のある箇所のもの。	0	1,300



①磁器製銘板(柱種標)表示
表示例



品名略称
メーカー略号・製造年
(西暦年下2桁)
表示重量

②底蓋表示
表示例



品名略称
製造年月日
製造番号
表示重量

①東京支店

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-19-6
TEL:03-5821-1155 FAX:03-5821-1156

②大阪営業所

〒540-0031 大阪府大阪市中央区北浜東1-22
TEL:06-6920-7171 FAX:06-6920-6700

③金沢営業所

〒920-0342 石川県金沢市畷田西2-25
TEL:076-268-1225 FAX:076-268-1228

④東京セキサン(株)(茨城工場)

〒306-0402 茨城県猿島郡境町猿山6-1
TEL:0280-87-1333 FAX:0280-86-5286

⑤滋賀セキサン(株)(滋賀工場)

〒521-1212 滋賀県東近江市種町1-2
TEL:0748-42-2151 FAX:0748-42-3623



▲東京セキサン全景(茨城工場)



▲滋賀セキサン全景(滋賀工場)

MITANI SEKISAN CO., LTD.



三谷セキサン株式会社

ポール事業部

東京支店 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-19-6(柳橋ファーストビル) TEL(03)5821-1155(代) FAX(03)5821-1156

大阪営業所 〒540-0031 大阪市中央区北浜東1-22(北浜東野村ビル) TEL(06)6920-7171(代) FAX(06)6920-6700

金沢営業所 〒920-0342 石川県金沢市畝田西2-25 TEL(076)268-1225(代) FAX(076)268-1228

福井本社 〒910-8571 福井県福井市豊島1丁目3番1号(三谷ビル) TEL(0776)20-3333(代) FAX(0776)20-3306

茨城工場 〒306-0402 茨城県猿島郡境町猿山6-1 TEL(0280)87-1333(代) FAX(0280)86-5286

滋賀工場 〒521-1212 滋賀県東近江市種町1-2 TEL(0748)42-2151(代) FAX(0748)42-3623



注意

●本カタログに掲載しました仕様は、2022年6月1日現在のものです。
また、この仕様は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

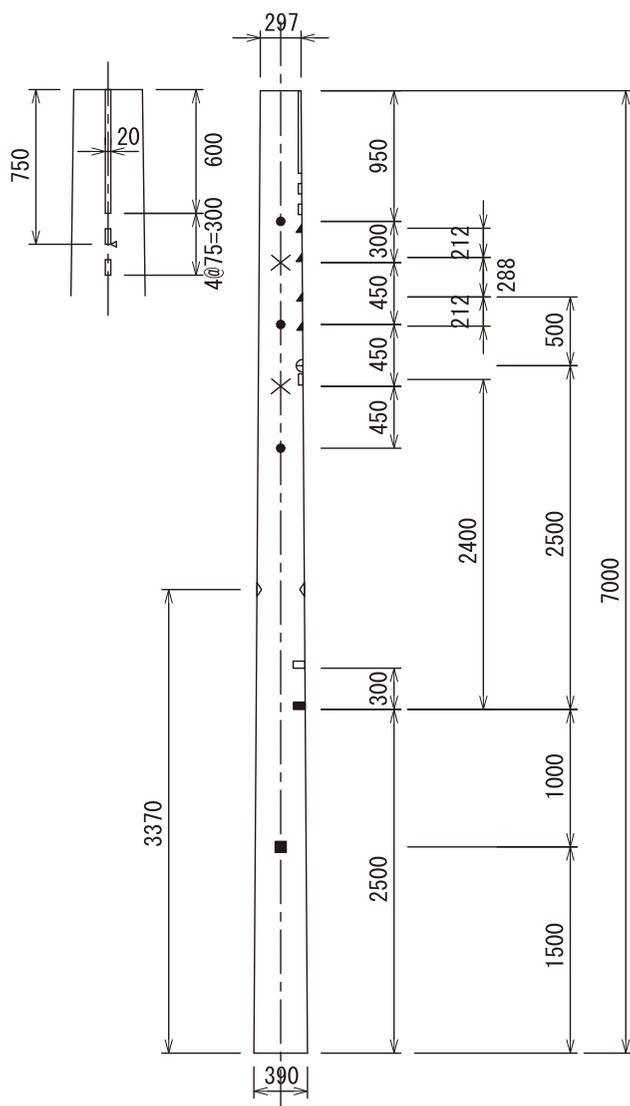
複合柱用台柱

※東京電力規格品

- 本品は上部鋼管部(別売)と組み合わせ、11m、13m、15m複合柱として使用できます
- 本品は分割式の為、これまでの長尺のコンクリート柱と比較して運搬・建柱の作業性に優れております
- 鋼管部・コンクリート台柱はすべて7m以内に収まる為、4セクラスのトラックでも運搬可能です
- 鋼管同士や鋼管とコンクリート台柱の接合は、差し込むだけで容易に組立が可能なかん合式になります
- フランジ式継柱のようなボルト締めが不要なため、ボルト落下や締め付け具合の点検が不要となります

柱種	全長	上管	下管	ひび割れ 試験荷重	適用台柱 テーパー 1/75	台柱長	元口径	台柱重量
	(m)	(m)	(m)					
13-70	13.75	2.85	5.15	6.87	7-200	7	390	900
13-100	13.75	2.85	5.15	9.81	7-300	7	390	960
15-70	15.0	4.10	5.15	6.87	7-200	7	390	900
15-100	15.0	4.10	5.15	9.81	7-300	7	390	960

※上部鋼管部は別途鋼管メーカーより取り寄せとなります。
弊社にて一括で手配可能ですので是非お問い合わせください。



複合柱用台柱 図面(7-200の例)



複合柱

共架用コンクリート継柱(フランジ式)

※NTT西日本規格品

- 本品はコンクリート柱とコンクリート柱を組み合わせた分割式コンクリート柱となります
- 本品は分割式の為、これまでの長尺のコンクリート柱と比較して運搬・建柱の作業性に優れております
- 接合部はフランジ式となる為、高力ボルトにて確実に接合がされます

柱種	全長 (m)	末口径 (mm)	元口径 (mm)	支持点高 (m)	荷重点高 (m)	ひび割れ 試験荷重 (kN)	支持点における ひび割れ試験 曲げモーメント (kN・m)	上柱		下柱		参考重量 (kg)
								長さ (m)	重量 (kg)	長さ (m)	重量 (kg)	
継14-5	14	190	300	2.4	11.35	5.0	56.75	7	560	7	690	1250
継14-7	14	190	300	2.4	11.35	7.0	79.45	7	650	7	750	1400
継15-5	15	190	300	2.5	12.25	5.0	61.25	7	560	8	790	1350
継15-7	15	190	300	2.5	12.25	7.0	85.75	7	650	8	890	1540
継16-5	16	190	300	2.7	13.05	5.0	65.25	8	640	8	790	1430
継16-7	16	190	300	2.7	13.05	7.0	91.35	8	710	8	890	1600
継16-10	16	220	350	2.8	12.95	10.0	129.50	9	1010	7	990	2000

※参考重量とは、所定の強度を満足させるうえでの設計重量のことであり、実際の重量は20%程増となります。

フランジ部材料表

上柱長 (m)	ひび割れ 試験荷重 (kN)	材質	板厚 (mm)	フランジ幅 上柱 (mm)	フランジ幅 下柱 (mm)
7	5.0		SM490 又は SN490	22	59.0
8	5.0	22		52.5	50.0
7	7.0	25		59.0	50.0
8	7.0	25		52.5	50.0
9	10.0	25		56.0	50.0

高力ボルト^{※1}仕様表

ひび割れ 試験荷重 (kN)	ボルト種類	個数 (本)	首下 (mm)	有効 ネジ長 (mm)
5.0	M16F8T	10	80	30
7.0	M16F8T	12	80	30
10.0	M16F8T	16	80	30

※1 溶融亜鉛メッキ



フランジ柱